



パンデミック時代前後における親密圏

共同主催者

コットマン・ノラ（ドイツ日本研究所、東京）

吉田亜紀子（ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校、ウィスコンシン、客員研究員、ドイツ日本研究所、東京）

デーラズ・ローラ（西オーストラリア大学、パース）

プログラム

13.30～ 受付時間

14:00～14:05 ご挨拶

ヴァルデンベルガー・フランツ、所長、ドイツ日本研究所、東京

14:05～15:15 テーマセッション（1）：独身性（シングル生活）

コロナ禍におけるシングルと親密さの実践（practice of intimacy）：オリジナル調査の視点から

デーラズ・ローラ（西オーストラリア大学、パース）

コットマン・ノラ（ドイツ日本研究所、東京）

パンデミックの結婚願望への影響とその男女差

吉田亜紀子（ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校、ウィスコンシン）

シングルライフ、（ソロ）社会性とパンデミックの影響

デーラズ・ローラ（西オーストラリア大学、パース）

コットマン・ノラ（ドイツ日本研究所、東京）

15:20～16:35 テーマセッション（2）：お家と都市の〈ひとり空間〉

COVID-19 緊急事態宣言下における在宅勤務の実態調査—家族およびジェンダーへの効果を中心に

鈴木七海（お茶の水大学、東京）

コロナ禍における「自宅療養」の実態調査—1065人のオンラインアンケートから分かるもの

王紫璇（オウ・シセン）（京都大学、京都）

コロナ禍による日本の都市の〈ひとり空間〉の変容

南後由和（明治大学、東京）

16:30～17:00 休み（コーヒブレキ）

17:00～18:00 テーマセッション（3）家族を超える人間関係

シスジェンダー異性愛を超えた親密関係・独身性を計量的に捉えるための方法論的研究——高年齢層への認知インタビューの分析結果から

平森大規（法政大学、東京）

同性カップルの家事分担は平等か—量的データの予備分析より

*釜野さおり（国立社会保障・人口問題研究所）

コー・ダイアナ（法政大学）

神谷悠介（中央大学）

ディスカッション

18:00～19:30 交流会（ブッフェディナー；スピーカーと関係者のみ）

通訳: 畠山澄子（ディスカッション；Q&A）